

## Ⅶ. ビジネス創造センター関連新聞・雑誌記事

平成 19 年度中に新聞・雑誌等に掲載された当センター、センター関係者、小樽商科大学の産学官連携に関連する記事の一覧です。

見出し末尾に\*のある記事は特に C B C 活動に関連のある記事とコピーを掲載しております。（\*コピーの掲載は冊子体のみで、W e b ではしていません。）

（日付順 特に記載がない限り、新聞は小樽市域販売のもの）

見出し [ ]内は備考	紙名／誌名	巻号/日付(頁)
I T活性化へN P Oを設立 ノーステック財団[代表：下川フェロー]	北海道新聞	4. 1(10)
北海道 I T企業経営者ら新組織、産学連携引き継ぐ。[代表：下川フェロー]	日経産業新聞	4. 2(3)
産学連携の仕掛け役に（聞きたい言いたい）[インタビュー：下川フェロー]	日本経済新聞	4. 7 (35)
危機意識が景気を回復させる：産・学・官で「ストップ第 2 の夕張」（北海道メール）[寄稿：海老名センター長]*	週刊世界と日本	1755 号 /4. 16(5)
2 校連携 環境や広域観光探る：樽商大 室工大	北海道新聞	5. 16 (室蘭地方)
[観光]を柱に地域再生講座：樽商大が室工大などと連携	北海道新聞	5. 17(25)
「酒造りの神髓」学ぼう*小樽で 27 日サイエンスカフェ [協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	北海道新聞	5. 24(29)
洋菓子やコンブ商品百貨店、スーパーへ：台湾に販路開拓 地域一丸小樽[参加：海老名センター長]	北海道新聞	5. 27(11)
酒造りの仕組み学ぶ：小樽で催し、80 人が交流[協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	北海道新聞	5. 28(31)
産学官金連携の動向と地方銀行の役割（特集活発化する産学官金連携）[寄稿：海老名センター長]	地銀協月報	No. 564/6 月号 (3-11)
小樽のガラス工芸品の魅力を発信：平成 19 年度 JAPAN ブランド育成支援事業に採択[参加：海老名センター長]*	SeaPortWaltz	6 月号(6)
「おたる案内人」検定試験 第 2 回は 9 月 16 日[運営委員：海老名センター長]	北海道新聞	7. 3(24)
産学官連携で輸出に勝機：香港市場で小樽の食品需要調査 海老名誠・樽商大教授に聞く*	北海道新聞	7. 4(26)
未来型公共事業 少子高齢化する日本（国土交通・北海道開発行政への提言 1）[寄稿：瀬戸フェロー]	北海道建設新聞	7. 10(1)

「道産品、アジアで商機」市老壮大学 海老名樽商大教授が講演	北海道新聞	7.11 夕(11)
東アジアで商機つかめ！：台湾の「道商談会」17日、小樽、事業実行委[講演：海老名センター長]	北海道新聞	7.12(32)
帯広信金、地域経営塾開く、7期生33人学ぶ	ニッキン	8.17(8)
あすまちづくりトーク[座談：海老名センター長]	北海道新聞	8.22 夕(9)
自治のあり方市長とトーク：札幌で座談会[座談：海老名センター長]	北海道新聞	8.24 夕(13)
小樽商大室蘭工大 全学レベルに連携拡充：あす協力協定を締結	読売新聞	9.3(32)
文系と理系が連携！小樽商大と室蘭工業大が協定締結！	小樽ジャーナル	9.4
「大学力」アップへ連携：樽商大、室工大が調印式：共同研究事業化も	北海道新聞	9.5(29)
樽商大・室工大が協定：単位互換・共同研究・教員交流	朝日新聞	9.5(23)
全学的交流へ連携協定：小樽商大と室蘭工大が締結	毎日新聞	9.5(21)
教育、人材育成で連携：室工大と小樽商大調印	室蘭民報	9.5(1)
水素社会へ知恵探る：樽商大生：室工大と「フォーラム」	北海道新聞	9.10(35)
アントレプレナーシップが経済を変える・動かす(広告)[瀬戸フェロー]	日本経済新聞	9.11(13)
小樽商大・室蘭工大 地域再生システム論！一般も参加無料！	小樽ジャーナル	9.12
「経済マイスターによる知力講座」日興ユニバーシティコンソーシアム(広告)[瀬戸フェロー]	日本経済新聞	9.26(10)
「文理融合」進む道内大学 連携協定や専門職大学院に本腰 [コメント：海老名センター長]	北海道新聞	10.1(13)
優秀な人材確保が課題[寄稿：瀬戸フェロー]	読売新聞	10.8(7)
市内2大学がタッグ！商大・薬大が包括連携協定	小樽ジャーナル	10.11
「地域医療に貢献を」：樽商大と道薬科大が包括連携調印	北海道新聞	10.12(33)
小樽商大、道薬科大全学的に連携協定	毎日新聞	10.12(21)
包括連携の協定調印：樽商大・北海道薬科大：教員派遣や共同研究も	朝日新聞	10.12(2)
小樽商大と道薬科大連携：あすと20日、合同市民講座	読売新聞	10.12(30)
小樽で企業経営学ぶ：ロシアの若手経営者20人	北海道新聞	10.23(27)
進む国公立大連携：単科系、特性生かし生き残りかけ模索(新教育の森ほっかいどう)[コメント：一瀬コーディネーター]	毎日新聞	10.26(24)
中国野菜の輸入新聞記事で解説：小樽商大の中村教授講義[総務部スタッフ]	北海道新聞	10.28(32)

アントレプレナーシップが経済を変える・動かす（広告） [寄稿：瀬戸フェロー]	日本経済新聞	10. 31 (38)
「北海道に外貨導入政策」を：アジア経済発展の軌跡と米国の考え方を参考に[寄稿：海老名センター長]	調査レポート（北洋銀行）	No. 136/11月号 (17-24)
小樽商大、ユーザビリティラボ開設！*	小樽ジャーナル	11. 7
小樽商大がラボ：IT製品使いやすさ検証：JR駅前企業、自治体向け開放*	北海道新聞	11. 8(13)
頭取の統率力弱かった 斎藤一朗・小樽商大教授（私の拓銀論：3）	朝日新聞	11. 26 (26)
みんなで書き込みHPで「小樽百科」：樽商大准教授が開設	北海道新聞	11. 9(34)
製品の使いやすさをチェック：小樽商大が「ラボ」開設*	読売新聞	11. 15(27)
「地域に根ざした大学」を目指して：小樽商科大学の地域連携活動[寄稿：海老名センター長]*	文部科学教育通信	No. 184/11. 26(18-19)
「おたる案内人」上には上：ご当地検定最高位新設：1級対象、履修に講座と試験[運営委員・講師：海老名センター長]*	北海道新聞	12. 19(25)
新聞記事から読む北海道経済の行方：2月に講座[講師：瀬戸フェロー]	北海道新聞	12. 23(6)
小樽ガラス香港でもキラッと：商工会議所来月16日から初展示会[参加：海老名センター長]*	北海道新聞	12. 28(23)
地域活性化の技術開発議論：北大事例紹介 経産省が研究会[コメント：土井学外協力スタッフ]	北海道新聞	1. 11(11)
新聞記事から経済読む：来月9日小樽商大札幌教室で講座[講師：瀬戸フェロー]	北海道新聞	1. 13(6)
全国初の信金講座：地域振興、企業再生支援を指南：樽商大、4月開設 札幌信金が協力	北海道新聞	2. 1(11)
呼び戻せ！夢と希望の新天地（北海道メール）[寄稿：海老名センター長]*	週刊世界と日本	1791号/2. 4(3)
MOT公開講座4大学にネット中継：来月、北海学園大で[講師：瀬戸フェロー]	北海道新聞	2. 6(11)
進路考える機会提供：キャリア学習（新教育の森ほっかいどう）[大津副センター長]	毎日新聞	2. 8(22)
商大のCBC活動[寄稿：海老名センター長]*	緑丘	第103号 /2. 19(2-4)
発展するアジア。協力を深めて北海道も豊かに：小樽商大ビジネス創造センター長海老名誠さん（はなし抄）*	北海道新聞	2. 24(30)

札幌信金、「信金」テーマに開講、小樽大に提供講義	ニッキン	2.29(9)
観光振興へ鋭い指摘も：JICA 留学生が発表[研修講師：海老名センター長]	北海道新聞	3.1(33)
小樽の魅力をどう売り込む：15日商大が地域セミナー*	北海道新聞	3.4(27)
小樽商科大学ビジネス創造センターの産学官連携研究成果報告会（講座・講演会）*	読売新聞	3.4夕(9)
北洋銀道内5大学と研究：新年度研究費用を負担	北海道新聞	3.13(11)
商大セミナー「“小樽の魅力”を売り込む工夫」*	小樽ジャーナル	3.15
地域振興の取り組み実例、体験談交え紹介：樽商大が活性化セミナー*	北海道新聞	3.16(33)
北洋銀が50万円助成 新年度から：樽商大と室工大連携の講座	北海道新聞	3.22(10)
小樽ガラス工芸家の実演：あすサイエンス・カフェ[協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	北海道新聞	3.22(32)
小樽ガラスの魅力を紹介ビズ・サイエンスカフェ[協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	小樽ジャーナル	3.23
小樽ガラス光る匠の技：「サイエンス・カフェ」で制作実演[協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	北海道新聞	3.24(35)
ガラスの美堪能[協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	読売新聞	3.25(33)
小樽 ガラスの誕生語る[協力：ビジネス創造センター 司会：大津副センター長]*	朝日新聞	3.25(35)
地域経済の再生探る：学生の企業調査支援：北洋銀、樽商大と共同研究	北海道新聞	3.25(32)
小樽商大と市が包括連携協定*	小樽ジャーナル	3.27
小樽市職員商大に派遣：観光など連携協定*	北海道新聞	3.28(36)
連携より密に*	読売新聞	3.29(31)